

地域が誇る自然資源を活かした観光経営人材育成講座

「持続可能な観光(サステナブルツーリズム)」の実現のためには、地域が誇る自然資源を活かした観光をマネジメントできる人材の育成が欠かせません。

東京都と淑徳大学は、自然資源を活かしたツーリズムをテーマに、観光の最前線でご活躍の実務家をお招きして、観光経営という視座で学びを深め、地域が誇る自然資源を活かした観光経営人材を育成することを目的に本講座を開催いたします。

開催概要

- 期 間 2025年9月13日(土)～12月20日(土) 全12講座(1講座90分*)
(*有料のフィールドワーク「尾瀬かたしなネイチャー体験(1泊2日)」 「みたけ山ネイチャー体験(日帰り)」を含む)
- 場 所 対面(JTBコミュニケーションデザイン研修室：港区芝3-23-1)及びオンデマンド形式
- 定 員 20名程度 ※応募者多数の場合はご希望に沿えない可能性もございます。
- 受講資格 (1)東京都内在住または在勤の方
(2)観光関連の活動や事業に従事する・従事したい方
(3)自然資源を活かしたツーリズムで観光まちづくりを志す方、ご興味がある方
- 受講料 無料

【東京都「大学等と連携した観光経営人材育成事業」(本事業)について】

東京都では、観光関連事業者の経営力向上を図り、観光産業の活性化につなげることを目的として、大学等と連携して新たな教育プログラムの開発等の支援事業を実施しています。淑徳大学は 2024年度より都の連携大学に選定されています。

お申し込み方法

- 1 下記QRコード*を読み取るか、または記載のURLにアクセス



<https://questant.jp/q/TOKYO-2025>

*QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

- 2 必要事項を入力

申し込み専用サイトにジャンプしますので、内容を確認し、各項目に必要事項を入力し送信してください。

参加方法・講座内容の詳細について事務局よりご連絡を差し上げます。

- 3 講座への参加

本講座の受講料は無料です。

全12講座を受講いただけます。

※対面式とオンデマンド式がございますので、ご注意ください。また、フィールドワークは有料となります。

地域が誇る自然資源を活かした観光経営人材育成講座

TOKYO SUSTAINABLE TOURISM 2025

本講座の
ポイント

本テーマに精通し、観光の最前線でご活躍の実務家を招聘
多忙な受講生の実情に即したオンデマンド講座を併用
フィールドワークによる実践的な学びを採用

9/13^{SAT}～12/20^{SAT} 全12講座



注目のTOKYOサステナブルツーリズム無料講座
お申し込みガイド

第1回

オンデマンド

9月13日配信 自然資源を活かしたツーリズムと将来展望



千葉 千枝子
淑徳大学 経営学部 観光経営学科 学部長 教授
中央大学卒業後、富士銀行、シティバンク勤務を経てJTBに入社。1996年起業。運輸・観光全般に関する執筆・講演、TV・ラジオ出演などジャーナリスト活動に従事。2016年より現職。東京都・岩手県・青梅市・片品村など自治体の観光審議委員、NPO法人交流・暮らしネット理事長、中央大学兼任講師。近著に「レジャー・リゾートビジネスの基礎知識と将来展望」(第一法規)、「観光経営学入門」(建帛社)。

宮口 直人

(株)ビスコナインテッド 代表取締役(株)JTB総合研究所 客員研究員信州高山温泉郷 旅館わらび野 代表立命館大学ビジネススクール 教授和歌山大学 国際観光学研究センター 客員特別研究員東京国際大学 講師
大学卒業後、JTBでの勤務を経て、オーストラリアでMBAを取得。2009年より経営コンサルタントとして独立し、宿泊施設の再生、地域活性化事業、観光人材育成等にたずさわる。現在、温泉旅館の経営に従事。



第2回

オンデマンド

9月13日配信 自然保護運動発祥の地・尾瀬かたしなの未来構想



梅澤 志洋
片品村長
群馬県片品村出身。大学卒業後、家業である旅館の経営に携わり、地域観光に深く関わる。その後、村議会議員を経て村長に就任し、現在2期目。尾瀬国立公園をはじめとする貴重な自然環境を守りながら、観光・農林業振興や子育て支援、福祉の充実に力を注いでいる。経営の視点と現場感覚を活かし、住民との対話を大切にしながら、持続可能で安心して暮らせる村づくりを進めている。

八尋 聡

環境省 関東地方環境事務所 片品自然保護官事務所 自然保護官
北海道大学大学院を修了後、2022年4月に環境省入省。本省自然環境局、中国四国地方環境事務所(岡山)での勤務を経て、2024年4月より現職。尾瀬国立公園の群馬県域の現場管理を行うレンジャーとして、地域関係者と協力しながら、木道や登山道の管理、ニホンジカ対策、利用促進の取組などに従事している。



尾瀬フィールドワークの心得 (東京パワーテクノロジー グリーントラベル尾瀬)



逆さ燧ヶ岳



湿原と紅葉



ヒツジグサ



白い虹

第3回

フィールドワーク

Aグループ：9/20(土)～9/21(日) Bグループ：9/21(日)～9/22(月)

尾瀬かたしなネイチャー体験

訪問地: 尾瀬国立公園群馬県片品村(尾瀬ヶ原)

行程:初日JR上毛高原駅9:30改札集合・翌日17:00JR上毛高原駅 解散予定

“天上の楽園”といわれる尾瀬。ルールを守って秋の尾瀬ヶ原を散策します。鳩待峠を起点に、途中、間伐体験や外来生物除去の実際などを学びます。参加費有料、交通費自己負担、宿泊は「至仏山荘」(1室2名ないしは3名利用)で定員20名。ツアー内容の詳細については、受講登録後のお知らせをご参照ください。



第4回

対面

10月12日(日) 13:00～14:30
里山の中で学ぶ・遊ぶ・泊まる
人気の廃校作り



横尾 隆義
(株)47partners 代表取締役
(株)マイナビ地域創生の代表および(公財)地域育成財団の代表理事を歴任。主に、空き公共施設(空き家・廃校等)や公園・まちなか再整備事業、地域の若者と一緒になって活性化に取り組むなど、幅広く事業を展開。そのほか(公社)経済同友会の地域共創委員会副委員長・観光推進委員、わくわくカンパニー大多喜(DMO)役員、楽天グループ地方創生事業における(ふるさと納税等)顧問等、いずれも現職。人と地域をつなぐ実践型の地方創生を目指す。また、総務省の地域力創造アドバイザーや、新宿バスタでの「貨客混載」事業(国土交通省)、「再犯防止事業」(法務省)のほか、高校生・大学生を対象に地域を盛り上げるための学びの場づくりにも注力する。

第5回

対面

10月12日(日) 14:40～16:10
「沿線まるごとホテルSatologue」
にみる地域課題を付加価値へ転換



会田 均
JR東日本八王子支社 地域共創部 マネージャー 兼 沿線まるごと(株) 取締役
2004年東日本旅客鉄道(株)入社後、10年ほど小売・エキナカ事業・新規事業・会社再編等を担当。2018年八王子支社着任から現在まで多摩エリアでの地方創生事業に従事。青梅線活性化を促進するため2021年12月に沿線まるごと(株)を設立し取締役を兼務。「沿線まるごとホテルプロジェクト」が2023年9月に第7回ジャパン・ツーリズム・アワードにて最高賞の「国土交通大臣賞」と「学生が選ぶアワード賞」のダブル受賞。

第6回

オンデマンド

10月中旬配信(予定)
沖縄観光を支える島々の魅力
と課題



下地 芳郎
(一社)沖縄観光DX推進機構 理事長
淑徳大学 経営学部 観光経営学科 客員教授
沖縄キリスト教学院大学 客員教授
明治大学法学部を卒業後、沖縄県庁入庁。初代香港事務所長として、香港を中心にアジア全般の観光客誘致などを担う。観光振興課長、観光企画課長、文化観光スポーツ部観光政策統括監などを歴任。2001年のアメリカ同時多発テロ、2011年の東日本大震災等の影響で落ち込んだ沖縄観光の立て直しを担う。2013年琉球大学観光産業科学部教授に就任。学部長、研究科長を経て、2019年から2025年6月まで(一財)沖縄観光コンベンションビューロー(OCVB)会長を歴任した。

一部対談形式 コーディネーター 千葉千枝子
淑徳大学 経営学部 観光経営学科 学部長 教授

第7回

オンデマンド

10月下旬配信(予定)
トレイル×ツーリズム みちのく潮風トレイルの軌跡と展望



紺野 純一
(一社)東北観光推進機構 理事長
淑徳大学 経営学部 観光経営学科 客員教授
福島市出身。JR東日本で福島駅、仙台駅の駅長を、また、仙台ターミナルビル(株)専務取締役ホテル事業本部長兼ホテルメトロポリタン仙台総支配人を歴任し、仙台ホテル総支配人協議会会長も務めた。2015年から東北観光推進機構にて現職。東日本大震災からの東北の観光復興を進め、東北6県DCの事務局長を務めた。観光データのデジタル化や観光人材育成にも尽力し「フェニックス塾」を2016年からスタート。東北を支える多くの観光人材を輩出している。

渡辺 謙克

環境省 三陸復興国立公園管理事務所 国立公園管理官
1965年岩手県金石市生まれ。1999年新潟県上野村(現上越市)へ移転。第3セクターのスキーリゾート会社に在職中、「越後田舎体験」事業において体験プログラム商品の企画開発及びガイド養成等を担当。2006年岩手県へUターン。田野畑村体験型観光「番屋エコツーリズム」を推進。2008年田野畑村役場入庁、観光振興・復興対策部門を歴任。2020年環境省入省、三陸復興国立公園において国立公園満喫プロジェクト事業の推進及び「みちのく潮風トレイル」の利用促進を担当、現在に至る。



第8回

対面

11月1日(土) 13:00～14:30
ハワイ州におけるツーリズム ～心理学的効果と住民とのかかわり～



山口 一美
立教大学心理芸術人文研究所研究員・博士(心理学)
日本航空(株)客室乗務員勤務後、専門学校の講師及び大学・大学院の非常勤講師を歴任後、2004年から文教大学国際学部教授(2020年まで)。また、ハワイ大学マノア校観光産業経営学部客員研究員、神奈川県新たな観光の枝づくり委員会委員、神奈川県観光審議会委員長、茅ヶ崎市のホノルル市・郡姉妹都市交流委員会委員を歴任。専門は社会心理学、産業・組織心理学、観光学。著書に「ハワイ読本 日本人がハワイを好きな理由」(創成社)等多数。

山口 一美

辻野 啓一

(一社)エコツーリズム協会 運営役員
淑徳大学 経営学部 兼任講師
元・JTBハワイ社長
JTB在職中、サンフランシスコ、香港、シンガポール、ハワイに18年間駐在し、なかでも6年におよぶJTBハワイの社長時代は、地域貢献にも注力した。また、広報室長を歴任し、年間250本ものニュースリリースを発行、情報の発信にも努めた。同社退職後は(一社)日本エコツーリズム協会で事務局長、流通経済大学国際観光学科の教授等を経て現職。日本国際観光学会では役員も務めている。



第9回

対面

11月1日(土) 14:40～16:10
地域主導でインバウンド事業の
収益力を強化する!

～DX、流通、オペレーション構築の大切さ～



東 良和
沖縄ソーリスト(株)代表取締役会長
(一社)日本旅行業協会理事
沖縄経済同友会副代表幹事
1960年沖縄県那覇市生まれ。沖縄の日本復帰を小学6年生で経験、パスポートが不要になったので中学・高校は九州・熊本に進学。早稲田大学社会科学部卒業後、日本航空(株)勤務を経てコーネル大学ホテル経営大学院(米国ニューヨーク州イサカ)に留学(ホスピタリティ経営学修士)。1990年に沖縄ソーリスト(株)入社、2004年に代表取締役社長に就任し2014年から現職。長年に渡り首尾一貫、地域主導型の観光ビジネスモデルを追求。1990年代からインバウンドにも積極的に取り組み、2009年にはVISIT JAPAN大使に任命される。世界中の人流が止まったコロナ禍では2年間で43億円の営業損失を被り22億円の債務超過に陥るも、その後、わずか2年で債務超過を解消するほどのV字回復を実現。真の外貨獲得産業になるために日本企業の第三国間観光ビジネスモデルへの進出の必要性を強調する。現在、(一社)日本旅行業協会理事、沖縄経済同友会副代表幹事、(一社)沖縄eスポーツ連盟代表理事などを務める。

第10回

対面

11月8日(土) 14:00～15:30
「川と森の案内人」からみた
自然資源を活かしたツーリズム

～東京山間部におけるエコツアーの実践～



宮田 浩
自然ガイド(川と森の案内人)
東京都出身。愛媛大学大学院修了。学生時代は生態学を学び、外来魚を研究対象として愛媛県松山市と北海道胆振地方の河川で野外調査を行う。大学院修了後は自然学校において環境教育に従事し、その後は愛媛県西条市でグリーンツーリズムとエコツーリズムに携わる。東京都の御岳ビジターセンターおよび高尾ビジターセンターではインタプリターとして自然を紹介し、御岳山では重要な観光資源であるレンゲショウマの調査活動も実施。2017年からはガイド業を立ち上げ、御岳山と高尾山を主な舞台として「東京の自然をゆっくり味わうツアー」を展開。ツアーのテーマは春の植物やムササビ観察など多岐にわたる。自然を楽しむ、地域の食を楽しむ、気が合う仲間との出会い、仲間とながら楽しさをコンセプトとして現在ツアーを実施中。

第11回

対面

11月8日(土) 15:40～17:10
これからの観光地経営のあり方
「観光SX」を考える

山下 真輝

(一社)日本アドベンチャーツーリズム協議会 チーフディレクター
(株)JTB総合研究所 フェロー
内閣官房地域活性化伝道師として、全国の自治体やDMOに観光振興のアドバイスを行う。国・自治体の観光関連政策の各種委員や団体役員も務める。2019年に(一社)日本アドベンチャーツーリズム協議会を設立し、現在はチーフディレクターとしてAT推進の戦略策定、商品開発、人材育成等を支援。環境省のエコツーリズム推進基本方針検討委員を務めるなど、持続可能な観光開発政策にも参画。観光地域づくり、アドベンチャーツーリズム、エコツーリズム分野で日本の観光振興と地域活性化に取り組む。



第12回

フィールドワーク

2025年12月20日(土) 9:00

みたけ JR御嶽駅 集合

みたけ山ネイチャー体験

(武蔵御嶽神社・ロックガーデン)

東京アドベンチャーライン(青梅・奥多摩間の愛称)・JR御嶽駅から、バスと御岳登山鉄道を乗り継いで都内屈指のパワースポット「武蔵御嶽神社」と自然溢れる「ロックガーデン」を散策します。交通費は自己負担、昼食弁当・飲物を各自持参のこと。暖かい服装で両手が空くようリュック、歩きやすい靴(登山靴等)でご参加ください。帽子やグローブ、トレッキングボールがあると便利です。夕刻現地解散。雨天の場合はコース内容を変更します。



お申込みに際して

- ・講座名は予定されたタイトルであり変更になる場合があります。
- ・講師等は変更になる場合があります。
- ・講座は写真撮影、映像収録を行う予定です。
- ・お預かりした個人情報は本講座に関わる連絡やご案内以外には使用いたしません。



第12回「みたけ山ネイチャー体験」で現地を案内します。